

免震建築物の設計基準(第2版)講習会のご案内

開催日：2018年10月11日(木) 13:00～16:30(受付12:30～)

会場：[建築家会館](#)大ホール (東京都渋谷区神宮前2-3-16)

定員：定員80名(定員になり次第、締切)

申込方法：日本免震構造協会HPより[お申込み](#)下さい。

参加費：8,000円(テキスト：設計基準込)

支払方法：当日受付にてお支払い(釣銭のないようにご協力をお願いします)

◇ 趣旨 ◇

日本免震構造協会では、「JSSI 時刻歴応答解析による免震建築物の設計基準・同マニュアル」(以下、本設計基準という。)として、平成17年に第一版を発行しました。平成22年には、長周期地震動に対する免震部材の耐久性に関する研究や、強風時の安全性に関する研究などの知見、さらに免震基礎の安全性の問題などの知見を取り入れて、第2刷を発行しました。本設計基準は、時刻歴応答解析により設計する免震建築物を対象としており、内容は、免震建築物の構造設計にとどまらず、関連する建築計画、設備計画を含んでいます。後半には、5例の設計例を説明しています。

今般、「超高層建築物等における南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動対策について」(平28年6月24日付 国住指発第1111号)が平成29年4月1日から施行され、免震部材の長時間多数回繰返しの影響や場所によっては設計用入力地震動の強さの影響を考慮することが必要になりました。設計基準作成WGでは、最新の知見を取り入れて、設計基準・同マニュアル及び設計例を書き直し、第2版を出版することにしました。本設計基準が、広く利用されることを期待し、講習会を開催いたします、奮ってのご参加をお願いします。

一般社団法人日本免震構造協会

技術委員会 設計基準作成WG 主査 北村佳久

◇ プログラム ◇

13:00-13:40	1, 2, 3章(多数回繰返しを除く) 質疑	北村 佳久 (清水建設)
13:45-14:25	4章, 5章(5.1まで)、6章, 7章 質疑	齊藤 弘崇 (日建ハウジングシステム)
14:30-14:40	休憩	
14:40-15:20	3章の多数回繰返し、5章(5.2以降) 質疑	近藤 明洋 (鹿島建設)
15:25-16:05	設計例	西川 耕二 (日本設計)
16:05-16:30	質疑全般	

設計基準同マニュアル及び設計例目次

1章	適用範囲	5章	動的解析
2章	目標設計性能	5.1	設計用入力地震動
3章	免震部材	5.2	解析モデル
3.1	アイソレータ	5.3	安全性評価
3.2	ダンパー	5.4	終局限界状態の確認
4章	構造設計	6章	建築計画
4.1	構造設計	6.1	免震層の建築計画
4.2	荷重および外力	6.2	免震部材に関する耐火被覆と耐火性能
4.3	構造解析	6.3	免震層および免震層まわりの維持管理計画
4.4	構造安全性	7章	設備計画ほか
4.5	その他の設計上配慮する点		

問合先：一般社団法人日本免震構造協会 事務局 (TEL03-5775-5432 <http://www.jssi.or.jp/>)

緊急時：地震や台風などによる災害時の講習会実施については、協会HPのトップページに記載